

「第 67 回 全国青年大会」でのそば打ち体験教室 実施報告

歴史ある青年組織である青年団は、地域に居住する20～30歳代の青年によって組織されています。この全国組織として「日本青年団協議会(日青協)」があり、毎年「全国青年大会」を開催してスポーツ競技と郷土芸能などの文化活動を発表しています。青年大会のメイン会場となる「日本青年館(東京都新宿区霞ヶ丘町)」で、そば打ち体験指導を実施しましたのでその概要についてご報告します。



全国青年大会でのそば打ち体験

教室の実施依頼は、11月10日(土)・11日(日)の二日間でしたが、「第6回五段位認定・本審査会」の期日と重なってしまいました。そこで全麵協会員の「さいたま蕎麦打ち倶楽部」に、実施を依頼することになりました。そば打ち道具の運搬と会場設営、広報などは日青協が担当し、さいたま蕎麦打ち倶楽部のメンバー8名が2日間にわたってそば打ち体験指導を行いました。そば打ち体験教室を受けた方は、全国青年大会に参加した青年団員をはじめ見学で訪れた家族連れの方もいて「初めてだけど面白い!」「また体験したい!」と大好評でした。

1. 日 時 : 11月10日(土)・11日(日) 午前10時～午後4時
2. 会 場 : 日本青年館 1階 ロビー (東京都新宿区霞ヶ丘町4-1)
3. 実 施 : さいたま蕎麦打ち倶楽部
4. 成果と展望について

全国青年大会でのそば打ち指導は初めてのことであり、青年団の方々が「そば打ち体験」に興味を示すのか多少の不安がありました。しかし、多くの青年たちは興味を示して、そば打ちの楽しさを体験してもらうことができました。

全国各地には、「郷土そば」という地域の食文化があります。地域文化の担い手は青年であり、「地域づくり」を活動の柱に掲げている青年団が、「郷土そば」に関心を持つことは大変意義があります。私たち全麵協は「そばを活用した地域づくり」を目的に掲げ、全国各地に全麵協会員と1万5千人余の段位認定者がいます。青年団員が「そば」や「そば打ち」に関心を持つことによって、全麵協会員と連携した「郷土そば」の継承や地域活性化活動につなげることが期待されます。今回、全国青年大会での「そば打ち指導」が好評でしたので、今後は日青協と連携した具体的な活動の継続と発展方策について検討を続けて行きます。

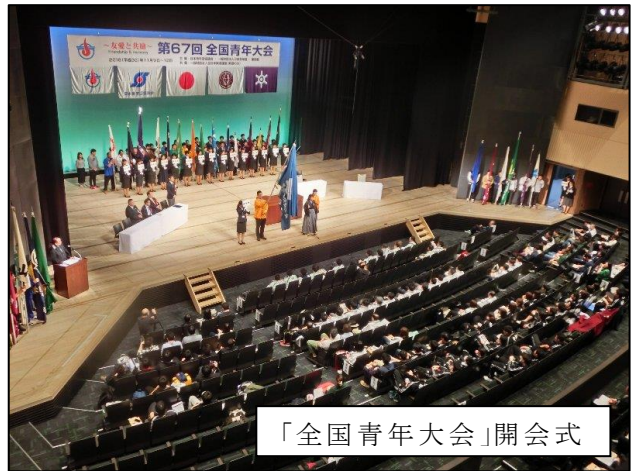


(報告:広報渉外部長 谷端淳一郎)

「第 67 回 全国青年大会」そば打ち体験教室 記録写真



「全国青年大会」受付



「全国青年大会」開会式



「全国青年大会」開会式



瑤子女王殿下お言葉



そば打ち体験教室会場



そば打ち体験教室



そば打ち体験教室



さいたま蕎麦打ち倶楽部メンバー